

<h3>市総合グラウンド建て替え 官民連携の可能性検討へ</h3>	<h4>佐世保市議会</h4> <p>定例佐世保市議会は23日、一般質問が始まり、6人が登壇。西本真也教育長は、老朽化した市総合グラウンドを建て替える場合に官民連携による整備が可能かどうか検討を始める考えを示した。</p> <p><b>田山藤丸議員</b>（自民市民会議）に答えた。</p> <p>市教委によると、年間30万人以上が利用する同グラウンドは、1969年の長崎国体に合わせて建設。陸</p>
<p>上競技場や野球場、プール、庭球場、体育館などを備えているが、近年は各施設で劣化が目立ち、その都度改修している。</p> <p>西本教育長は、同グラウンドの建て替えは「重要な課題」としつつも、市内のほかのスポーツ施設でも老朽化が進んでいると強調。市は来年度以降にスポーツ施設の整備計画を策定する予定で、その中で同グラウ</p>	<p>ンドの建て替えも議論するとした。</p> <p>一方、建て替える場合にPFI（民間資金を活用した社会資本整備）などの導入が可能かどうかは本年度から検討を始める方針を表明。民間企業との意見交換などを通じ、「メリットやデメリットなどの情報収集に努め、（導入の）可能性を模索したい」と述べた。</p> <p>（田下寛明）</p>

【佐世保市議会 令和3年6月定例会一般質問 6月23日 田山藤丸】

1. 持続可能なスポーツ環境の整備について

- 佐世保市総合グラウンドの現状と課題
- 広域連携・官民連携の推進
- 防災拠点・災害対応型のまちづくり

2. 脱炭素化と地方創生の取組について

- 水素・アンモニアの可能性
- 佐世保版グリーン成長戦略の策定